

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	日本語表現法基礎Ⅱ						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	1年次後期		
必修・選択の別	【建築工学コース:必修科目】【建築コース:必修科目】【デザインコース:必修科目】						
担当者	萬川正勝						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の特性を正しく理解し、使用できる。 ・日本語の文法を理解し、正しく使用できる。 ・語彙・言葉の意味を正しく理解し、使い分けができる。 ・漢字・表記を正しく使用できる。 ・上記のような項目を学習し、日本語表現の基礎を習得する。 						
日程と内容	<p>授業計画の項目および内容</p> <p>第1回：講義概要＋文法4 1回目</p> <p>第2回：文法4 2回目</p> <p>第3回：語彙・言葉の意味1 1回目</p> <p>第4回：語彙・言葉の意味1 2回目</p> <p>第5回：語彙・言葉の意味2 1回目</p> <p>第6回：語彙・言葉の意味2 2回目</p> <p>第7回：語彙・言葉の意味3 1回目</p> <p>第8回：語彙・言葉の意味3 2回目</p> <p>第9回：語彙・言葉の意味4 1回目</p> <p>第10回：語彙・言葉の意味4 2回目</p> <p>第11回：漢字・表記1 1回目</p> <p>第12回：漢字・表記1 2回目</p> <p>第13回：漢字・表記2 1回目</p> <p>第14回：漢字・表記2 2回目</p> <p>第15回：まとめと総合問題 定期試験</p>						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計				
	演習	50%		100%			
授業到達目標の達成度	○授業態度は比較的良く学生は、基礎知識を身につけたのではないと思われる。						
反省点	○授業者の説明は真面目に聞くけれど、主体的に取り組む姿勢にやや欠けるところがあったこと。						
来年度の計画	<p>1, 大学生らしい、日本語に対する知的好奇心をかき立てるような授業を組み立てること。</p> <p>2, 1を動機付けにして、個々人の言語生活を伽看的に考えるようにすること。</p>						
授業評価アンケートに対するコメント	○日本語表現法で学んだ、基礎知識を、単なる知識にとどめるのではなく、実際の日本語表現に活用させることが大きな課題である。						
履修登録者数	96名	定期試験 受験者数	86名	合格者数	83名	合格率	97%